

## ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に関する市長コメント

このたびのロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、子どもたちをはじめ、多くの一般市民が犠牲になっています。

この行為は、国際社会の平和と秩序、安全を脅かし、明らかに国連憲章に違反するものであり、断じて許されるものではありません。

白井市は、生命の尊さを深く認識し核兵器の廃絶と日本のそして世界の恒久平和の実現を念願する、平和都市であることを昭和62年に宣言しました。

私は、平和都市を宣言した白井市を代表して、また平和首長会議の一員として、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や主権侵害に対し強く抗議し、これ以上市民の尊い命が奪われることのないよう、一刻も早いロシア軍の撤退と、世界の恒久平和の実現に向けた誠意ある対応を強く求めます。

令和4年3月4日

白井市長 箕井喜久雄